「関東食育連携プラットフォーム~この指とまれ!~」エントリーシート(関東農政局)

■ 活動紹介

団 体 名 等	コープデリ連合会 商品検査	センター		
事業内容	商品検査センターは、フードチェーン全体での食の安全の取り組みが機能していることを、科学的・客観的に確認しています。数多くの検査データを蓄積し、その結果を分析することで、商品の改善・品質向上のために役立てます。微生物、残留農薬、放射性物質、食物アレルギー検査など年間約3万件の検査を実施しています。 生産者団体・行政との連携により地域とのつながりを大切にし、「食卓を笑顔に、地域を豊かに、誰からも頼られる生協へ」を目指します。			
所 在 地	〒331-0811 埼玉県さいたま市北区吉野町2丁目1417番	ホームページ等	http://kensa.coopdeli.coop/	
電話番号	048-782-5132	F A X	048-654-0779	
担 当 者	長嶋 行子	E-mail	yukiko nagashima@coopdeli.coop	
食 育 活 動	でをつなげることでSDGs「つくる責任つか 〇施設見学十手洗いチェックと実験プログ 食の安全のバトンリレーを映像で学んださ す。また、衛生管理の基本である手洗いです。塩分・消化など10種類の簡易実験プロ 夏休みには、親子でクイズを交えながら食べ ついて考えます。 〇施設見学十手洗いチェックと実験+食育	う責任」「陸の豊かさも ラム(随時開催) あと、食卓にのぼる食品の大切さを学ぶ機会とは グラムから選び体験すの安全を学び、身近に 野実習プログラム(随時 素と加熱によるビタミン	品がどのように検査されているのかを見学しまして、ブラックライトを使い洗い残しを確認しまけることができます。 ある食品や飲料の糖度を計り、糖分の摂取に けることができます。 ある食品や飲料の糖度を計り、糖分の摂取に は開催) かとの減少の実験を行い、効果的なビタミンの	

食育活動写真 (任意)











【食育実習】

活動の効果

消費者の関心ごとの一つでもある「食品安全」について科学的なデータや実験を通して学ぶことにより、食卓への興味につなげることができます。また、身近な食べ物や飲料の糖度や塩分などの簡単な実験を行うことで、子どもたちの探究心や向学心が生まれています。

継続への課題

消費者や子どもたちの「体験」の場としてお役に立てるように、行政や地域との連携、情報交換の場が必要だと感じています。また、より多くの方に体験の場をご提供できるように広報が課題です。

■ 連携を希望する取組について

連携を希望する業種等	学校-行政-地域-諸団体	
取組内容	 ・近隣小学校や自治体の社会科見学の受け入れを検討しています。 子どものうちからの、身近な食の関心ごとを考えるきっかけ作りと科学的な知見のデーターを使いながらコミュニケーションの場をつくることを目指しています。 ・各種団体・企業との共同での食育イベントの開催コープデリ商品検査センターという場と科学的視点を活かしながら、各食育の取り組みと組み合わせた企画開催を検討しています。 	